

昔懐かし
ふるさとアルバム



1889年
明治22年の三芳村近辺の地図。
上富・北永井・藤久保・竹間沢の字名が
記され4村で合併したことがわかります。



1970年
町制施行記念式典が開催された三芳
中学校体育館(同年に完成)。初代町
長より、町制施行が高らかに宣言され
ました。



1970年
江戸時代に杉並木として整備された川越
街道藤久保の並木。杉の巨木は環境の変
化で姿を消し、現在は写真に写る松の木
が数本残るのみとなっています。

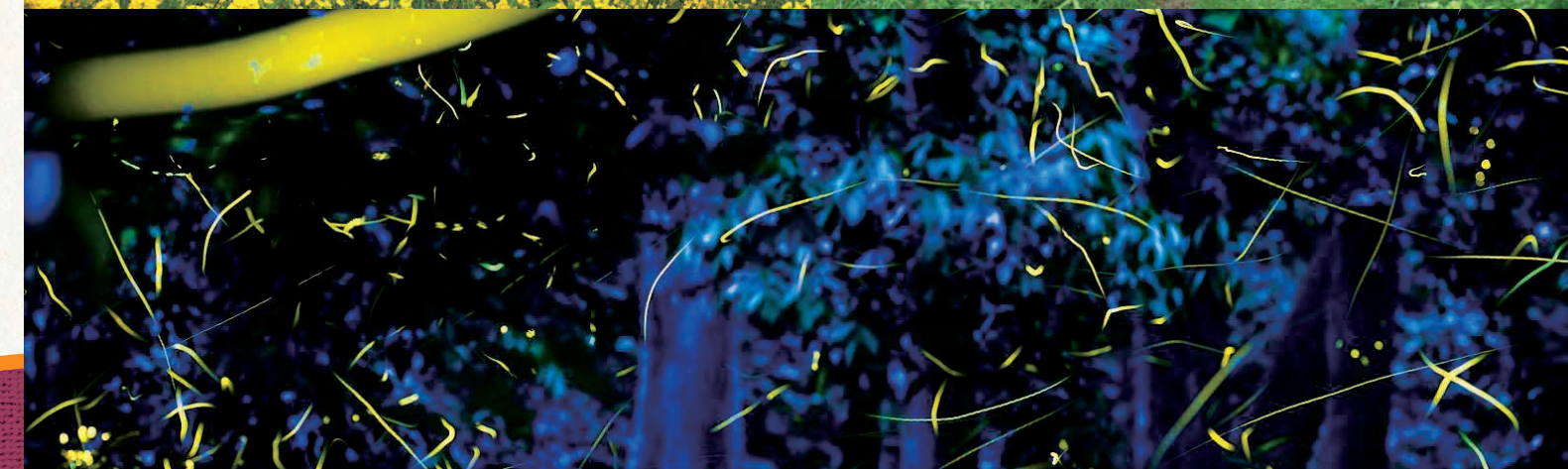
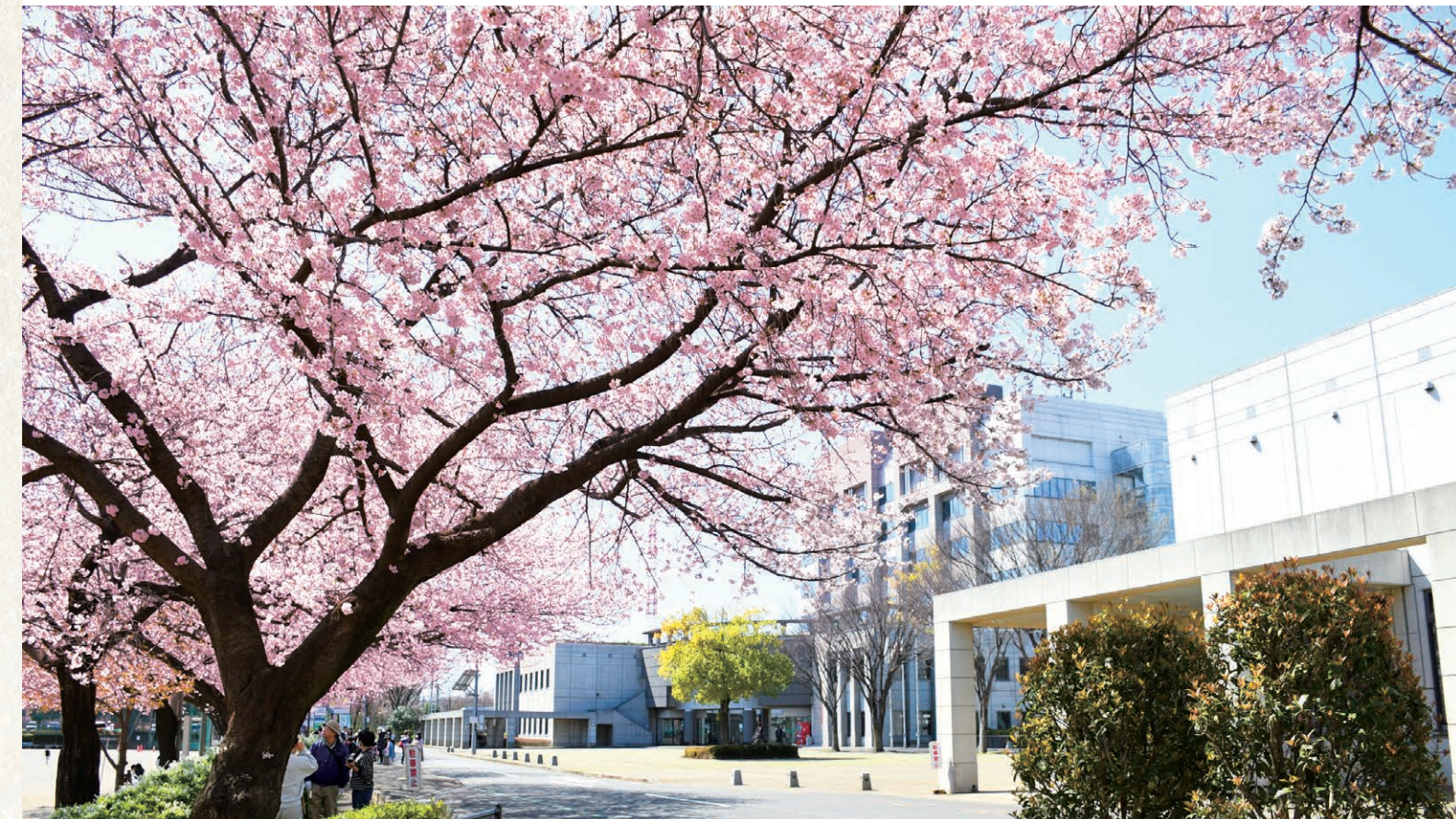


1970年
現在の藤久保第一公園から鶴瀬駅
方面を見た景色。このころは一面に
畑が広がっていました。



MIYOSHI
50th Anniversary

三芳町町制施行50周年記念誌 ダイジェスト版



発行にあたって

この記念誌は、この地を開拓し継承してきた先人たちの思いや伝統を大切にしながら、未来の世代に残したい伝えたい町の魅力をまとめたものです。「念ずれば花ひらく」(坂村真民)という詩があります。これまで多くの町民の皆様のご願いと思いが多くの花を町に咲かせてきました。これからも町の発展と町民の皆様のご幸を願い、たゆまぬ努力を続け、次の100周年という大輪の花を咲かせられるよう邁進してまいります。



三芳町長
林 伊佐雄

発行日/令和4年3月
発行/三芳町 〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100-1 TEL 049-258-0019
制作/岩岡印刷工業株式会社

50年のあゆみ

三芳町

昭和45年(1970)	4月1日 藤久保小学校開校(校舎は昭和46年4月完成)
昭和46年(1971)	7月 旧役場庁舎完成
昭和47年(1972)	11月3日 町制施行
昭和48年(1973)	11月3日 町制施行
昭和49年(1974)	11月3日 町制施行
昭和50年(1975)	11月3日 町制施行
昭和51年(1976)	11月3日 町制施行
昭和52年(1977)	11月3日 町制施行
昭和53年(1978)	11月3日 町制施行
昭和54年(1979)	11月3日 町制施行
昭和55年(1980)	11月3日 町制施行
昭和56年(1981)	11月3日 町制施行
昭和57年(1982)	11月3日 町制施行
昭和58年(1983)	11月3日 町制施行
昭和59年(1984)	11月3日 町制施行
昭和60年(1985)	11月3日 町制施行
昭和61年(1986)	11月3日 町制施行
昭和62年(1987)	11月3日 町制施行
昭和63年(1988)	11月3日 町制施行

平成元年(1989)	2月27日 町のマスコットキャラクター(愛称「みらい君」)に決定
平成2年(1990)	9月2日 三芳生誕100周年記念「みらい100年まつり」開催
平成3年(1991)	7月 中央図書館開館(町制20周年お祝いまつり)開催
平成4年(1992)	8月 県内町初の普通付郵便局(三芳郵便局)開館
平成5年(1993)	9月 第1回「よしまつり」開催
平成6年(1994)	7月 竹間沢公民館(出張所)児童館開館
平成7年(1995)	7月 現在地に役場新庁舎が完成し、業務を開始
平成8年(1996)	7月 三芳新団地開拓30周年を記念し、旧島田家住宅を移築復元
平成9年(1997)	7月 三芳町が誕生
平成10年(1998)	7月 三芳町が誕生
平成11年(1999)	7月 三芳町が誕生
平成12年(2000)	7月 三芳町が誕生
平成13年(2001)	7月 三芳町が誕生
平成14年(2002)	7月 三芳町が誕生
平成15年(2003)	7月 三芳町が誕生
平成16年(2004)	7月 三芳町が誕生
平成17年(2005)	7月 三芳町が誕生
平成18年(2006)	7月 三芳町が誕生
平成19年(2007)	7月 三芳町が誕生
平成20年(2008)	7月 三芳町が誕生
平成21年(2009)	7月 三芳町が誕生
平成22年(2010)	7月 三芳町が誕生
平成23年(2011)	7月 三芳町が誕生
平成24年(2012)	7月 三芳町が誕生
平成25年(2013)	7月 三芳町が誕生
平成26年(2014)	7月 三芳町が誕生
平成27年(2015)	7月 三芳町が誕生
平成28年(2016)	7月 三芳町が誕生
平成29年(2017)	7月 三芳町が誕生
平成30年(2018)	7月 三芳町が誕生
令和元年(2019)	7月 三芳町が誕生
令和2年(2020)	7月 三芳町が誕生
令和3年(2021)	7月 三芳町が誕生



共生社会

マレーシアの共生社会ホストタウン

初の姉妹都市であるマレーシアのペタリング・ジャヤ市。これまで教育・文化・芸術など様々な分野で交流を続けた点が評価され、マレーシアの「共生社会ホストタウン」として国より認定されました。これを契機に、町では共生社会推進懇談会を発足し、心のバリアフリーとユニバーサルデザインをまっすぐりを目指し、取り組んでいます。

【PR動画】共生社会ホストタウン



生まれつき耳の聞こえない映画監督・今村彩子さんが自転車で日本を縦断するドキュメンタリー映画。コロナ禍の令和2年8月、コミュニケーションを題材にしたこの映画をオンライン配信し、町が目指す共生社会について考える機会をつくりました。



映画「スタートライン」オンライン上映



中学校での上映会の様子。集会所でも上映会を実施しました。

国際交流



パラバドミントン体験会
マレーシアの国技である「バドミントン」のパラ競技体験会を開催しました



ハラール料理講座
多民族国家マレーシアの主要宗教であるイスラム教の教え「ハラール」を理解するために、マレーシアの多様な価値観や文化を学びました

※豚肉やアルコールを口にしない等、食事に關する教え

オランダ女子柔道チーム事前キャンプ受け入れ

三芳町はオランダのホストタウン。オリンピック大会の最終調整のため、令和3年7月17日(土)から7月23日(金)の間、オランダ女子柔道チームが三芳町で事前キャンプを行う予定です。淑徳大学でのトレーニングのほか、小中学生との交流を行うなど、リラクスした万全の状態で選手村へ送り出しました。大会では70kg級のサンネ選手が銅メダルを獲得しました。

【動画】事前キャンプの様子



町に来てくれたサンネ・ヴァン・ダイク選手(中央) テシー・サフェルクス選手(右から2番目)



事前トレーニングキャンプの様子



三芳町柔道連盟の中学生たちや淑徳大学女子柔道部と交流



コロナ対策のうえ歓迎セレモニーを実施



全小中学校をバスで巡回訪問し、子どもたちの声援を受けるオランダ選手



役場前にてホストタウン応援サポーターらが集まり、選手村へ送り出しました

子育て



中学生海外派遣
ホームステイや現地校との交流など、豊かな体験を通して国際感覚を育てるとともに、海外からの視察訪問を受け入れ、多文化共生の理解を深めています。平成9年〜20年はオーストラリア、平成24年からマレーシア、令和元年度からオランダへ派遣・交流しています。マレーシアは私立学校APSSアジア・パシフィック・スマート・スクールと、姉妹都市であるペタリング・ジャヤ市のリーダーシッププログラムに参加しました。



子育て支援センター

保育士、子育て経験者等が常駐しており、子育て家庭の親子が安全に遊び、他の利用者と知り合いになれるよう支援するほか、親子で楽しめる様々な活動を行っています。また、子育てに関する相談も行っています。



よみ愛・読書のまち

町では、ブックスタート(4か月児やブックスタートプラス(2歳6か月児)、図書館のおはなし会、保育所・児童館、公民館での読み聞かせの会、全小中学校での「朝読書」、図書館司書のブックトーク学校訪問などを活発に実施、児童書専門司書を育成して読書の輪を広げ、子ども読書活動優秀図書館として文部科学省から表彰されました。町は平成28年に「よみ愛・読書のまち宣言」をし、「魔法の宅急便」の著者、角野栄子先生の記念講演会を開催。宣言5周年の令和3年にも角野先生にご講演いただきました。



毎月23日を「よみ愛・読書の日」と定め、図書館・学校・地域で、読書や読み合うことを楽しむ人の輪を広げます



よみ愛・読書のまち 三芳町

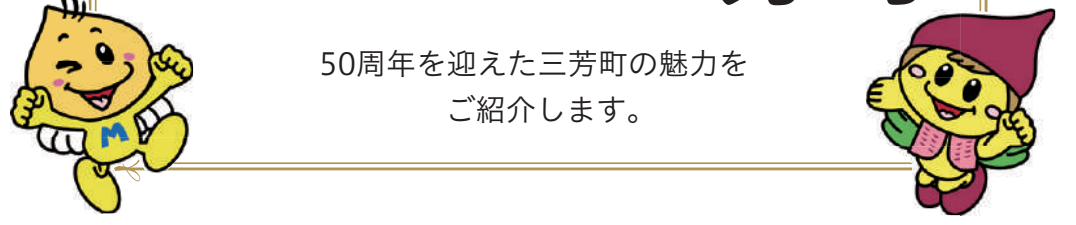
自然・環境



緑豊かな自然環境
令和の森公園「せせらぎ水辺広場」では水遊びができるほか、他の公園にはないバーベキュー施設があります。要予約。夏はセミやカブトムシなどの昆虫採集する子どもたちの姿が見られます。竹間沢こがし、湧水が池や小川に流れ込んでいます。ザリガニ釣りや昆虫採集ができるほか、初夏になるとホタルが舞い、林に閉まれた東屋で自然を満喫できます。

芸術文化

50周年を迎えた三芳町の魅力をご紹介します。



いいね♡三芳町

産業



伝統農法を守り、農業収益の向上や環境保全を実現する取り組みが評価され、平成27年度「第54回農林水産祭」むらづくり部門において天皇杯を受賞しました

スマートICル化

町内には、関越道の三芳スマートIC、近隣には所沢IC、川越ICがあり、圏央道や外環道へのアクセスにも優れているため、工業・流通地域として発展し、現在も有名企業の工場や物流拠点など多くの事業所が展開しています。現在、三芳スマートICはフルインター換の整備を進めており、これにより、高速道路網の利便性がさらに高まり、地域の観光および産業の活性化、雇用の促進、物流面に優れた企業立地にも期待が寄せられています。



三芳スマートIC、所沢IC、川越IC

芸術文化の拠点 文化会館コピスみよし

「ザ・シンフォニーエックタみよし」や竹間沢車人形などの鑑賞・公演をはじめ、地域の芸術文化活動の発表・参加など様々な催しが開かれています。おいては「無観客でもがんばろー!コンサート」を配信し、「芸術文化事業を持続可能にするための支援を呼びかけました」。



【動画】シンフォニーエックタみよしの公演



【動画】竹間沢車人形公演の様子



竹間沢車人形公演の様子

竹間沢車人形公演の様子

観光

町の土産品富の川越いもの生産を担う農家が軒を連ねて。販売時期(9月〜12月頃)になるとのぼり旗が立ち並び、サツマイモやみよし野菜の直売が行われます。いも掘り体験できる農家さんも、その他のクルメや自然など様々な出会いと発見が待っています。

世界一のいも掘りまつり



産業祭・農産物品評会



毎年11月第2土曜・日曜日に開催され、町内の農産物、工業製品など様々な商品が一堂に会します。産業祭ではみよし野菜の販売及び農産物品評会の表彰式が行われます。

いも街道



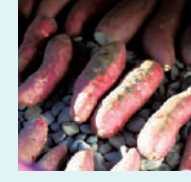
【動画】みよしまつりの様子



絶品! 町の特産品

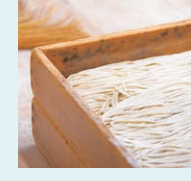
○富の川越いも

「川越いも」は川越地方でとれるサツマイモを指します。その中でも上富地区で栽培されるサツマイモは「富の川越いも」として知られています。金時と呼ばれ、美しい赤赤は、皮が鮮やかな赤色で身は美しい黄色。ほくほくとした食感と上品な甘さを楽しめます。



○そば

町内には約20ヘクタールのそば畑が広がり、埼玉県有数の生産地となっています。三芳町産のそばは粘りが強く、十割そばにしても歯切れのどろしの良さが特徴です。5月〜6月の初夏と10月〜11月の秋頃には、畑一面のそばの花が見頃を迎えます。三芳町産のそばをぜひ町内のお店でご覧ください。



○狭山茶

町で生産された狭山茶は、毎年行われる品評会で上位に入賞し、農林水産大臣賞を受賞。宮内庁に献上する品に選ばれるなど、その品質の高さは折り紙付きです。町内では賞を受賞した商品をはじめ、有機無農薬栽培のお茶、狭山茶を使用した様々な甘味などを購入できます。



○みよし野菜

町の農業は首都30km圏内、畑作中心の都市近郊農業として、県内有数の農業生産額を上げています。みよし野菜は、歴史ある三芳の大地が育んだ美味しく高品質な野菜です。若手農業者で構成されるみよし野菜ブランド化推進研究会は、みよし野菜の味と品質を広く知ってもらうため、ブランド化に取り組んでいます(PRイベントの実施、レシピ開発など)。安心安全で高品質なみよし野菜をぜひご覧ください。



おすすめ散策コース



農業遺産を巡る3つの散歩道



イベント

